

平成 25 年 3 月 22 日
四国電力株式会社

3号機放水ピット水モニタについて

3号機放水ピット水モニタは、平成24年4月に取替工事を行い、従来の採水による測定方式から、1, 2号機と同様に検出器を水中に設置して測定する方式（浸水方式）に変更しました。

その結果、取替後の指示値は取替前に比べて約1 cps 低下しました。

なお、降雨時は雨水に含まれる天然放射性核種のモニタ指示が上昇することがありますが、検出器設置場所は、従来モニタのサンプル採取場所と同じであることから、降雨による指示上昇は従来のモニタ挙動と同様と考えられます。

表1 3号機放水ピット水モニタ指示値 (単位: cps)

測定方式	測定期間	月間平均値* (降雨時以外)
採水式 (旧モニタ)	平成24年1月～平成24年3月	4.1
	並行測定時	4.1
浸水式 (新モニタ)	平成24年3月17日～4月1日	3.0
	平成24年4月～平成25年2月	2.9～3.0

* 並行測定時は、並行測定時の平均値を記載した。

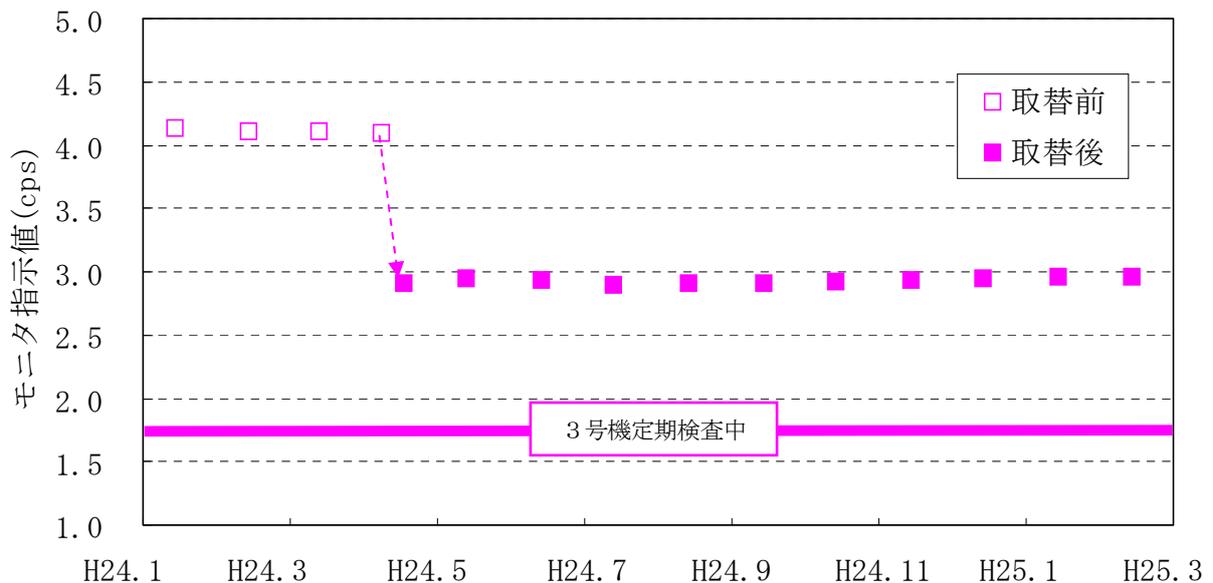
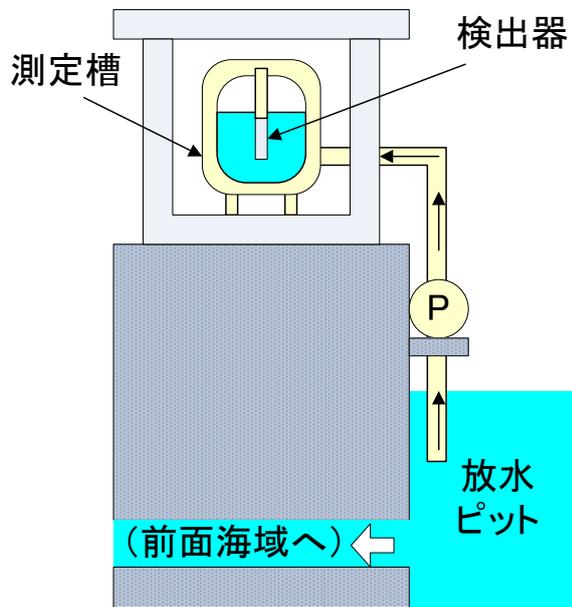


図1 3号機放水ピット水モニタ推移 (降雨時以外)

【変更前：採水方式】



【変更後：浸水方式】

1,2号機放水口水モニタと同様

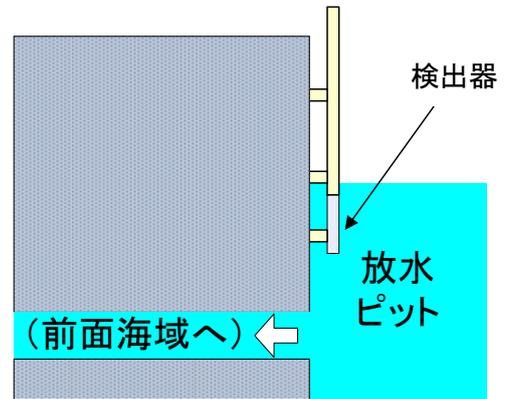
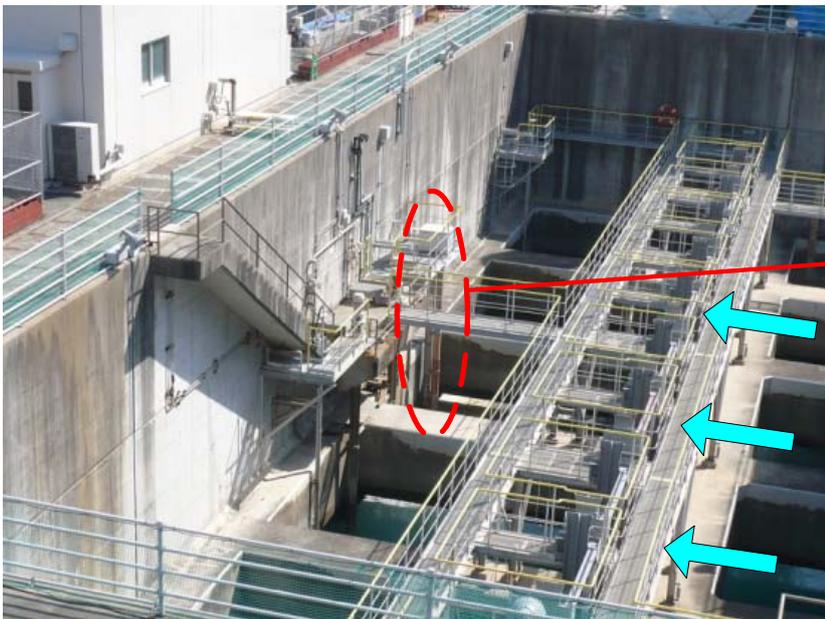
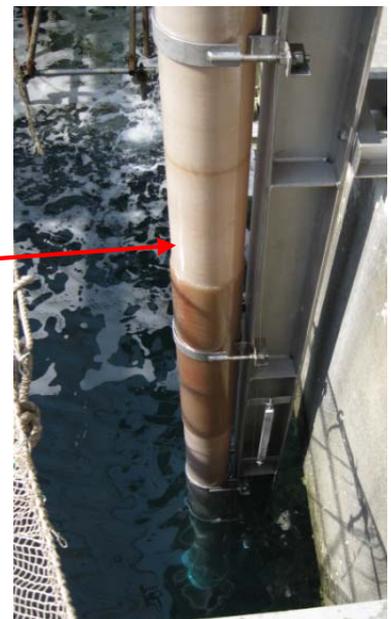


図2 取替前後の3号機放水ピット水モニタ測定方式



(写真：左) 3号機放水ピット



(写真：右) 水モニタ